

## 税務大学校和光校舎における施設管理・運営業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

業務内容：「税務大学校和光校舎」における点検及び保守業務、清掃業務、施設警備業務、図書室管理業務の各業務の包括的な管理・運営  
契約期間：平成21年4月1日から平成24年3月31日まで

2. 実施状況に関する評価

## (1) 快適性の確保（アンケート調査）

施設利用者アンケート調査（年4回実施）について、「不満度20%未満」を目標として設定したところ、各年度とも不満足度が3%以下であり、目標を十分に達成していると評価できる。

## (2) 品質の維持

管理・運営業務の不備に起因する研修の中断回数、空調の停止・停電・断水の発生回数ともに0回であり、適正な維持管理が行われていると評価できる。

## (3) 安全性の確保

管理・運営業務の不備に起因する施設利用者の怪我の発生回数は0回であり、適正な管理により安全性の確保が行われていると評価できる。

## (4) 業務水準の確保

各業務（点検及び保守業務、清掃業務、施設警備業務、図書室管理業務）とも確保すべき水準に対し、確実に業務が実施されていると評価できる。

## (5) 民間事業者からの改善提案による改善実施事項

民間事業者からの提案により、省エネルギー化（冷却水ポンプインバータ化）及び清掃作業の効率化（ワックス除去不可の汚れを剥離）がなされていると評価できる。

### 3. 実施経費に関する評価

3年間の契約額は、661,500千円であり、単年度換算すると220,500千円となる。従来の実施経費は、220,713千円であり、1年当たり213千円（約0.1%）の経費削減となる。

### 4. 今後の事業について

良好なサービスの質が達成されていることから、次期事業においても、引き続き、民間競争入札を実施することが必要と考えられる。

今回の入札においては、入札参加者2者のうち1者辞退したため、最終的に1者応募になっており、競争性の確保の観点から、入札辞退者へのヒアリング、積極的な情報開示等、多くの民間事業者の入札への参加を促す方を検討する必要がある。

以上